

宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン意見交換懇談会 議事録

日 時 令和2年2月18日(火) 14:00~15:00

場 所 松野町町民センター1階研修室

出 席 ・市町長

宇和島市長 岡原文彰 松野町長 坂本浩 鬼北町長 兵頭誠亀  
愛南町長 清水雅文

・事務局・担当者

宇和島市企画情報課 企画係長 渡邊寿夫 担当係長 中本辰也

松野町ふるさと創生課 課長補佐 白瀧健

鬼北町企画振興課 課長補佐兼地域活力創出係長 小川秀樹

愛南町企画財政課 主事 山本裕二

内 容

事務局 ※懇談会の開会

宇和島市長 ※開会のあいさつ

事務局 ※資料に基づき説明

宇和島市長 インバウンド事業については、今ちょうど、台湾のプロデューサーが宇和島に来ていて、昨日は、松野町、鬼北町、四万十市を巡り、今日は宇和島を巡っている。明日は愛南町を巡ると聞いている。

フォロワーが12万人いる方で、宇和島圏域を台湾人向けに紹介する動画コンテンツを準備している。動画コンテンツは後日出来上がる予定。その方が言うには、台湾人は今まで行ったことのない場所へ行ってみたいと思う習性がある。まずは宇和島圏域を知ってもらうことが大切だが、受け入れ側のホテルや外国人向けパンフレットなど十分な対応ができるのかといった課題があるとのこと。

例えば、ポケトーク(携帯音声翻訳機)など意思疎通できるツールを準備すれば一歩前進だと言われた。インバウンド対策として、台湾人が実際、圏域に旅行で来た時に、どういった課題があるのか圏域で考えてみたら良いと思う。

鬼北町長 宇和島には外国船がよく寄港しているが、位置づけとしては、インバ

ウンド対策か、それとも観光事業か。

宇和島市長 外国船の寄港は、先方から申し出があつてのことで、こちらから営業をかけて来てもらっているということでもない。いわば受身の状態。地理的に入り組んだ山を抜けたら城があるというロケーションが寄港地として選んでくれている理由だと思う。

年間 10 隻は寄港していて、約 7 時間滞在、滞在地での宿泊はない。宇和島市では市内を巡る無料バスを手配している。片道 1 時間程度までなら行くことができるようだ。時には内子町まで行ったこともあった。

鬼北町長 インバウンド対策になっているのだと思う。

宇和島市長 外国船の乗客に人気のある意外な場所は薬師谷。そうめん流しもツアーに入れたら面白いと思う。意外な価値観がある。外国船のツアー会社に圏域情報をいかに伝えていくかも大事なこと。

愛南町長 圏域で目玉観光があつたら良いのだが。

宇和島市長 滞在時間も限られ、宿泊もしないので、それに見合った観光があれば良い。現状は市の観光物産協会で旗振りなどの歓迎イベントは行っているが、実際の経済効果は、きさいや広場でロイズの売上げなど一定の効果がある程度だろう。みかんの販売や着物の着付け体験、じゃこ天販売を行ったこともあるが苦戦したようだ。

鬼北町長 試行錯誤でも継続していくことに意義がある。

宇和島市長 台湾の例で言うと、宇和島圏域への観光呼び込みの活動を台湾の現地で行うことで、熱意が必ず伝わると台湾のコーディネーターから言われている。

鬼北町長 私も会って、名刺を出したが、鬼のデザインの名刺だったので怖がられた。鬼はあまり受け入れてもらえないと感じた。

宇和島市長 いろいろな方法で圏域を PR することが大切。限られた条件の中で、牛鬼まつりなど外国人には何が受けるのか試してみないと分からない。

鬼北町長            私からの提案としては、闘牛について、牛を育てる後継者が不足していることを心配している。鬼北町内では0人だったが、この前やっと1人後継者が見つかった。牛を育てる人は圏域内に以前は多くいたが、数が減少してきている。闘牛を観光として守っていくためには牛を育てる後継者を確保していくための取り組みを圏域で行っていく必要がある。

宇和島市長            闘牛は圏域にとってオンリーワンの存在。市では観光物産協会を通じて闘牛協会に補助金を交付しているが、使い道はある程度任せている。その補助金の中で牛を育てる後継者の育成費用などにも充ててもらったら良いのだが。

鬼北町長            牛を育てる人を確保する必要がある。闘牛場を改修しても、肝心の闘牛がないのでは困る。後継者の育成にある程度の税金の投入もやむなしと思う。闘牛に興味があって牛を育成してみたいという人がいたら支援したいと議会に対しても呼びかけても良いのではないか。

宇和島市長            牛を育てる後継者の不足は課題。ANAの機内誌に16ページにわたって闘牛の特集記事を掲載したこともあるが、開催が危ぶまれるようなことがあったのでは困る。

鬼北町長            牛を飼うことの魅力も今の人にとっては薄れてきたのか。愛南町は何軒くらい牛を飼っているところがあるか。

愛南町長            2〜3軒だと思う。趣味の範囲になるが、牛を飼うのはかなりの労力がいると思う。

鬼北町長            圏域外の方に、牛舎で飼っている闘牛を見せたらかなりのインパクトになる。

松野町長            新潟県小千谷市も闘牛が有名で2月末に来るということで闘牛の話で盛り上がると思っていたが、新型コロナウイルスの影響で取りやめとなってしまった。全国的な闘牛のつながりというのも大切。

宇和島市長            全国闘牛サミットというものがある。隠岐島での開催の時に私も参加した。宇和島の闘牛場は他の施設に比べて立派だという意見だった。

- 鬼北町長 牛を育てる後継者、勢子も含めて、未来に残していく必要がある。
- 宇和島市長 市の闘牛協会へもいろいろな話の中で人材育成についても働きかけできればと思うが、なかなかうまくいっていない部分もある。
- 愛南町長 昔は娯楽も少なかったし、闘牛を飼う魅力もあったが、今は娯楽も多様化して若者で牛を飼ってみようという人も少なくなったというのが現状。  
愛南町では、サンパールのロッジをどうしていくかということが課題で、今考えているところ。
- 松野町長 松野町でも森の国ホテルが 3 月 20 日オープン予定だが、インバウンド旅行者には、シングルの洋間がいいのではないかとリニューアルしたところ。宿泊キャパを考えると、旅行者には宇和島に泊まってもらいその周辺で観光してもらおうというのが妥当なところだと思う。
- 宇和島市長 宇和島市は宿泊施設が不足しているというのはよく言われる。今は市本庁舎の改築工事や災害復旧工事もあって工事業者が多数宿泊している。宿泊予約も取りにくいようだ。  
神奈川工科大学の合宿で使われていた国際ホテルもやめて、大広間があってリーズナブルな宿泊施設が今なくなってきているのが課題。
- 鬼北町長 サイクリング事業について、県知事は実際に自転車に乗って自転車文化を広めていっているところだが、鬼北町は自転車の購入も検討したが今は様子見の状態。
- 宇和島市長 うちもなかなか考えが及んでいないのが現状。
- 松野町長 松野町でも自転車の購入を検討したが、一度やり始めるとやめられなくなるリスクがある。とりあえずは地道にやっっていこうと思う。
- 宇和島市長 愛南町はトライアスロンをやっているが。
- 愛南町長 トライアスロンはやっているが、それ以上のことはない。
- 事務局 共生ビジョン 22 事業について、その他の意見はあるか。

松野町長 地域医療について、市立宇和島病院は良好に運営できていると思うが、医師確保の点で、市町独自の対策でやっていけるのか、これからは圏域で連携して、医師の確保に取り組んでいかないといけないのではないかと危機感を感じている。松野町は市立宇和島病院や他町の病院に依存している状況。看護師の確保は専門学校もあって取り組んでいるが、医師の確保についても大事。

宇和島市長 医師の確保については共通認識。松山なら行くが宇和島へは行かないといった声があるとも聞く。

鬼北町長 県知事との懇談会の時にも、地域枠であるのに、松山なら行くが新居浜や八幡へは行きたがらないと愛大の先生が言っていた。

宇和島市長 看護師の確保については、宇和島看護専門学校への補助金を交付している。市立病院への就職にあたっての奨学金もある。市立病院での研修医には、ハワイ大学での研修に参加できるというプログラムもつけている。市立病院の患者数からいうと、医師には激務になってしまうので、以前は修行に向いているということもあったが、今は敬遠されがち。

鬼北町長 現状の市立病院は医師数が足りているのか。

宇和島市長 不足している状態。宇和島病院の他に、吉田病院と津島病院もある。医療分野については、きさいやネットとともに現場の連携もできたらと思う。福祉分野については、圏域で連携して取り組んでいけたら良い。図書館事業については更に頑張っていけないといけない。

松野町長 鬼北町の登録者が多いが何か理由はあるのか。

鬼北町長 本屋と図書館は読書の窓口。読書のきっかけを作ってほしいといつも言っているのもそういったことも関係していると思う。

事務局 駅前のパフィオ内に、図書館が移転したことも関係があるかもしれない。

松野町長 松野町でも市の図書館が利用できることをもっと宣伝しないといけ

ない。

愛南町長 愛南町では、看護師確保の奨学金として、奨学金を学費に充ててもらい、地元に戻って看護師として一定期間勤めたら、返還を免除する制度を準備している。

宇和島市長 宇和島市でも制度設計について考えているが、これからという段階。

愛南町長 看護師確保のために、以前にも同様の制度があったが利用がなかったので廃止した経緯がある。医師についても同様の奨学金制度があって今も続けている。今は2人が利用している。内科医がほしいとかこちらの希望もあるが、個人の専攻までは指定できないのが難しいところ。地域枠と同じでこちらの思い通りにはなかなかいかない。

鬼北町長 鬼北町でも医師確保に向けて愛南町の制度を参考に制度化した。関係者に事情を確認したところ、奨学金の返済が必要になったとしても若いうちは自分の研究したい分野に進む気持ちが強いとのことだった。お金で勤務先を誘導することは難しいのかもしれない。

宇和島市長 今日の意見はどのような取り扱いになるのか。

事務局 今日出た意見は担当部局に伝える。また共生ビジョン懇談会の委員へも伝える。会長は旭川荘南愛媛病院の岡部院長先生。共生ビジョンに組み込める事業があれば組み込んでいく。

松野町長 平成30年度の評価だが、AとCが多く、結構頑張っているのに、ぎりぎり達成できなくてCというのもある。そういったものはBにしても良いのではないか。

事務局 B評価の取り扱いについて再考したい。以上をもって意見交換会を終了。

15:00 終了